

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19105002	研究期間	平成19年度～平成22年度
研究課題名	触媒的不斉合成における触媒活性と立体選択性の自在制御	研究代表者 (所属・職)	林 民生（京都大学・大学院理学研究科・教授）

【平成21年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A
	B
	C

(意見等)

キラルジエン配位子を用いる不斉金属触媒の化学は、研究代表者によって切り開かれた分野であり、国際的な研究の広がりが始まっている。本研究計画では、それらの基盤に基づき、既存のオクタジエン配位子のより簡便な合成法の開発、ハイブリッド型フォスフィン配位子の新規開発、新規骨格をもつ不斉ナノジエンの開発などをこれまでに実現し、また触媒反応への展開を行っている。これまでの成果は期待通りであるが、最終的に当初の目標にある活性、選択性の両面に優れた新規触媒系を開拓することが望まれる。

基盤的である研究内容の性格からして、社会的発信には乏しいが、数多くの代表的国際誌に優れた論文を発表しており、専門分野での情報発信は十分と考えられる。ホームページを用いて研究内容を分りやすく公表することが望まれる。研究組織の運営についても問題はない。

【平成23年度 検証結果】

検証結果	
A	当初の研究目的である不斉触媒反応開発における新しい展開が達成され、当初の期待どおりの成果が得られている。研究成果の発信も国際誌に数多く報告されている。設備備品も適切に活用されている。